
「頭蓋内髄膜腫の治療成績の後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究の基幹研究機関は群馬大学医学部附属病院脳神経外科であり、群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会にて承認されています。埼玉医科大学総合医療センターは共同研究機関であり、埼玉医科大学総合医療センター病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2004 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の期間に埼玉医科大学総合医療センターにて 2004 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに行われた 390 症例の髄膜腫の患者さんが対象です。

2. 研究の目的

頭蓋内髄膜腫の摘出手術においては、神経機能の温存と摘出度の向上、をいかに両立させるかが問題となります。手術の技術や器械が発達した現代でも、合併症や再発を根絶することは困難な状態が続いています。本研究では、脳神経機能温存、穿通枝梗塞や静脈灌流障害などの血管性合併症、感染や髄液漏などの手術関連合併症、術後の肺炎や深部静脈血栓症などの内科的合併症、および摘出度別の長期腫瘍制御率、などに着目し、研究参加施設における治療成績を振り返ることによって、今後改善すべき点に関して考察することを目指します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 5 月 1 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

用いる情報は、病歴・画像（MRI や CT、血管撮影など）、手術記録、病理診断などです。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である花北俊哉が管理いたします。患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

髄膜腫と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた画像データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者：脳神経外科	医師	准教授	花北 俊哉
研究実施者：脳神経外科	医師	客員教授	大宅 宗一

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 研究責任者 花北俊哉
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981
tel/fax: 049-228-3671
受付時間 平日 10時から15時

○研究課題名：頭蓋内髄膜腫の治療成績の後方視的検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 花北俊哉